

こいた 小板まきばの里通信Vol 7.3

～紅葉の色の違いを比べてみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■ キャンプ場周辺で秋の植物を探索しよう！



アカシデ



クロモジ



コシアブラ



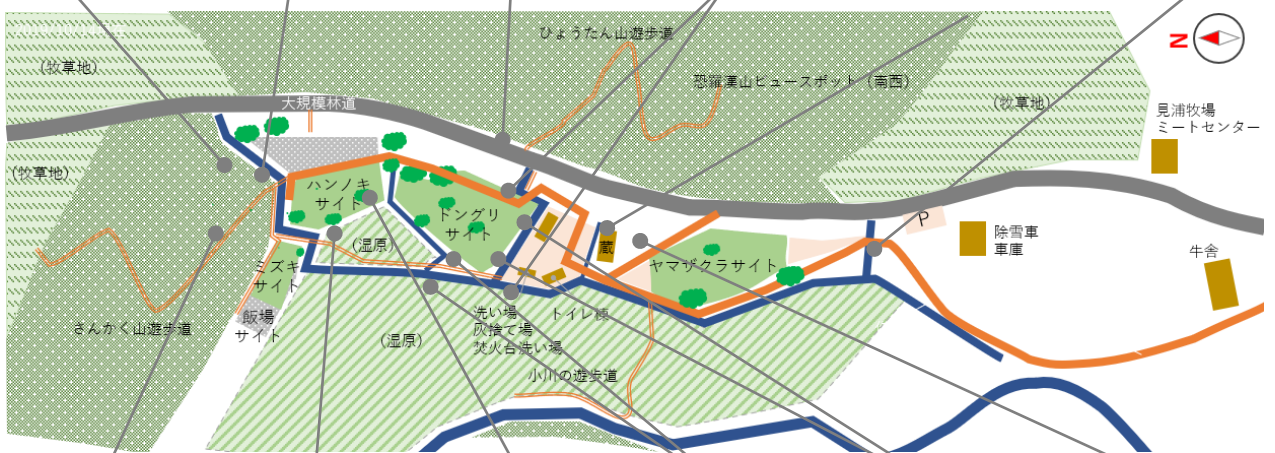
ウワミズザクラ



コハウチワ
カエデ



ナナカマド



オオモミジ



サンショウ



ケヤキ



コマユミ



コナラ



ヤマウルシ

■ 里山の自然観察 ～紅葉の色の違いを比べてみよう～

11月に入るとキャンプ場周辺は紅葉の見ごろの季節を迎えます。紅葉は最低気温5度以下の晴れた日が数日続くと一気に進み始めます。コナラやブナの葉が黄色に変わるのは、葉に含まれている緑の色素（クロロフィル）と黄色の色素（カロチノイド、人参の色素のβ-カロテンの仲間）のうち、緑の色素の分解が早く進むため、残った黄色の色素が強くなって黄色に色づくのだそう。カエデやウルシの葉が赤色に変わるのは、日光が当たることで葉に残った糖と酵素が反応して赤色の色素（アントシアニン、リンゴやブドウの皮の色の色素）が作られるためなのだとか。そのため赤く紅葉する木の葉でも日光が十分当たらない場所では黄色になったりします。木の種類や日の当たり具合でいろいろな色に色づいて野山を彩る木々の葉たち、どんな色があるのか葉っぱの色の違いをくらべてみましょう。